

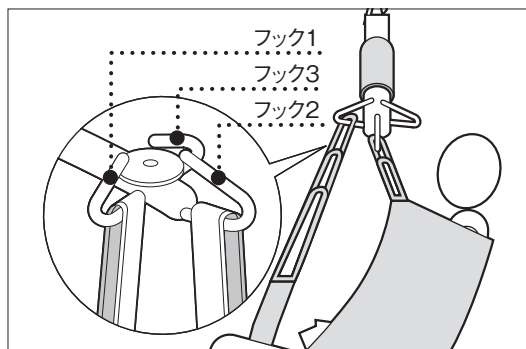
6-1. フックへの取り付け

肩の外側から回すスリングをご使用の場合は、利用者に窮屈な思いをさせないため上肢側のストラップを「フック2」に取り付けます。下肢側のストラップは「フック1」に取り付けます。わきの下を通すスリングをご使用の場合は、スリングが必要以上に広がると利用者の体幹がずれやすくなるのを防止するため上肢側のストラップを「フック3」に取り付けます。下肢側のストラップは「フック1」に取り付けます。

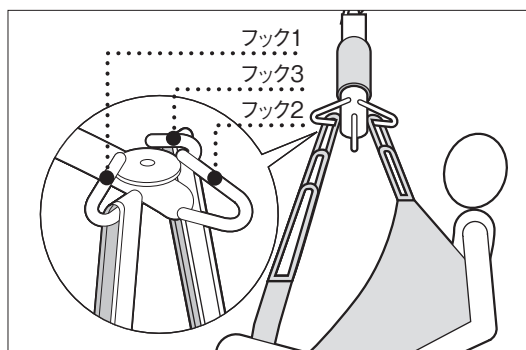


警告

●ストラップはしっかりと所定のフックに架けてください。ストラップをリフティングハンガーに結び付けたり、誤ったフックに架けると利用者がバランスを崩したり転落する恐れがあります。



6-1. 肩の外側から回すスリングの3本フックへの取り付け



6-1. わきの下を通すスリングの3本フックへの取り付け

6-2. 取り扱い方法（座位の場合）

6-2-1. スリングシートの差し込み

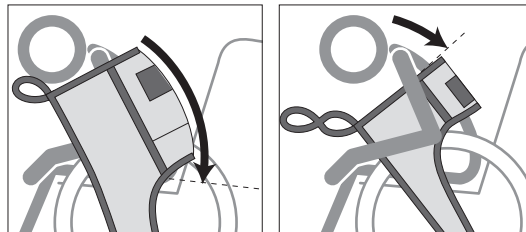
■肩の外を回すスリングシート

スリングシートの表裏・上下を確認し、スリングシート of 中心と体の中心を合わせ、スリングシートの下部が座面に接触するくらい奥まで差し込みます。

■わきの下を通すスリングシート

スリングシートの表裏・上下を確認し、スリングシート of 中心と体の中心を合わせ、スリングシートの上部が肩甲骨の辺りになるまで差し込みます。

6-2-1. スリングシートの高さ合わせ際の目安（座位）



肩の外を回すスリングシートの場合

わきの下を通すスリングシートの場合

6-2-2. スリングシートのフィッティング

下肢側ストラップを、ねじれないように注意しながら、体の両側の腰から太股にかけてまわします。＊左右とも同じ要領で行ないます。

トイレ用スリングシートの場合は、下肢側ストラップを、ねじれないように注意しながら、体の両側の太股（膝の裏側）に向けて伸ばします。＊左右とも同じ要領で行ないます。

正面にまわり、体の両側から出ている下肢側ストラップのしわ、たるみを伸ばすように、先端を前方に軽く引き、スリングシートを体に密着させます。

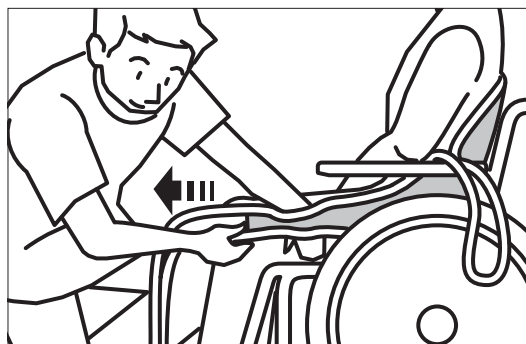


注意

●スリングシートの中心と、体の中心が合っていることを確認します。中心が合っていないか、ねじれがあると持ち上げた時に利用者の体を痛める恐れがあります。



6-2-1. スリングシートの差し込み



6-2-2. 下肢側ストラップのフィッティング